基準７　学生支援等

（１）観点ごとの分析

観点７－１－①：　学習を進める上でのガイダンスが整備され，適切に実施されているか。また，学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され，機能しているか。

（観点に係る状況）

準学士課程の新入生に対して，学習に関するガイダンスが宿泊研修の中で，全体研修および学科別研修として行われている（資料７－１－①－１）。学生生活の手引き（資料７－１－①－２），シラバス（資料７－１－①－３）を全学生へ配付し，学習内容について必要事項を周知している。さらに，各教員は授業の開始時に，授業の進め方について説明を行っている。

専攻科課程においては，入学時と２年進級時に開催されるガイダンス（資料７－１－①－４）において，学習・教育目標等の説明を行っている。特に「複合型システム工学」教育プログラムの修了要件については，入学時と２年進級時に学習・教育目標達成度確認表を配付し，履修計画を立てさせ指導している（資料７－１－①－５）。専攻科生全員に対してもシラバス（資料７－１－①－６）を配付している。

毎週水曜日の放課後はオフィスアワーとして，教員全員が教員室に待機し学習・生活全般に関する相談に応じ（資料７－１－①－７），それ以外の時間に対しても個別に対応する体制としている。平成18年度の実績としてオフィスアワーには前期526件，後期643件の相談が行われ（資料７－１－①－８），学生相談室には学習に関する相談が154件寄せられた（資料７－１－①－９）。

資料７－１－①－１

平成19年度　新入生宿泊研修プログラム

第１日　４月９日（月）	
8:40	集合（各ホームルーム）
8:50	高専出発
10:00	ホテル到着 入室
10:50	全体研修① ・研修概要説明 ・校長講話 ・学習に関すること
11:30	休憩
11:35	全体研修② ・校歌練習 ・校訓と教育目標の説明
12:00	移動
12:10	昼食・休憩
12:55	全体研修③ ・学校生活に関すること ・学生寮に関すること
13:35	休憩
13:40	全体研修④ ・相談室に関すること

第２日　４月１０日（火）	
7:00	起床・洗面
7:30	朝食（機械7:30、電気7:40、情報7:50 物質8:00、環都8:10）
8:50	移動
9:00	学科別研修 ・各学科の内容に関するガイダンス ・今後の修学上の諸説明等 ・レポート作成
10:30	学科別研修終了・移動
10:40	部屋後片付け
11:00	点呼・集合（ホテル玄関前）
11:10	ホテル出発
12:20	高専到着 ・解散式　（学生玄関前）
12:30	解散

（出典　学生係資料）

資料７－１－①－２

１．教育課程 → 高専を卒業すると「準学士」
５年間で高校と大学分の勉強

●**教育課程**：「本校は、教育基本法の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。」という学則に基づき、函館高専の教育目標、各学科の教育目標が定められています。（「学生生活の手引き」表紙裏を参照）
教育課程は授業科目及び特別活動により編成されています。一般科目と学科ごとの専門科目とで構成されます。（「函館工業高等専門学校学則」の附則別表を参照してください。）

●**授業の形態**：
講義・演習を主とする科目 …… 主に講義室で授業が行なわれます
実験・実習・設計製図・実技を主とする科目 …… 実験室・実習工場・体育館・グランドなどで授業が行なわれます。

●**授業内容**：授業内容を記載した「シラバス」（授業計画書）を学生全員に配布しています。

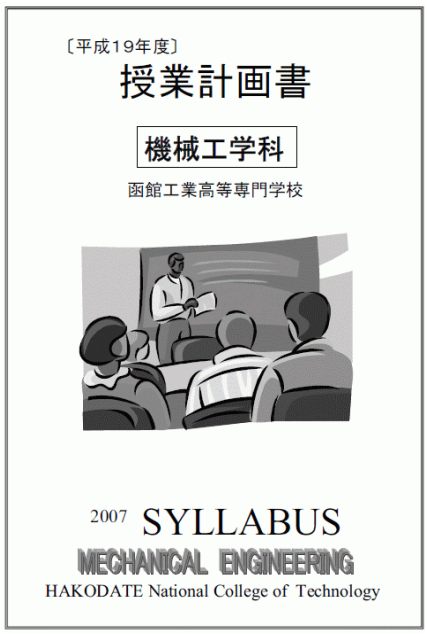
「シラバス」とは授業計画について各学科ごとに冊子にしたものです。
→　教科担当教員が授業内容を分りやすく説明したものです。
→　予習・復習・テストの勉強に活用できます。

●**単　位**：高専では、授業時間 50 分を「１単位時間」（１時限）としています。
各授業科目の単位数は、３０単位時間の履修を１単位としています。高専を卒業するまでに、一般科目で７９単位、専門科目で８８単位、合計１６７単位を履修しなければなりません。

●**学　期**：本校は、前期（４月～９月）および後期（10 月～３月）の２学期制をとっています。

（出典　平成19年度学生生活の手引き 13頁）

資料７－１－①－３



この授業計画書（シラバス）の使い方

授業計画書（シラバス）には、授業を担当する先生の名前、実施時期と内容、そして到達目標、成績の評価方法などが示されています。学生の皆さんにとっては、この一年間、どのようなことを学び、どのようなことが出来るようになるか（ならなければならないか）が示された資料です。各授業の開始時に、各担当の先生から、授業の進め方について説明がありますので、その時は、忘れずに持参してください。また、その後も、効率的な学習を進めるため、予習や復習時に大いに活用してください。

「★教育目標、JABEE について」

函館高専の教育目標、各学科の教育目標、一般科目の教育目標が示されています。各授業はこれらの目標を達成するように計画され、実施されます。また、JABEE について簡単に解説したもの、JABEE の学習・教育目標とも言える「JABEE の基準１」、各学科の専門分野ごとの「JABEE 修得すべき知識・能力」についても記載されております。これらの目標、基準を理解し、自分のものとすることが、効果的な学習につながります。目を通すことをお勧めします。

また、最後のページに皆さん自身が今年度の学習目標などを記入できる部分を設けました。大いに活用して下さい。

（出典　準学士課程用シラバスより抜粋 ）

資料７－１－①－４

平成１９年度函館高専専攻科ガイダンス（新入学生）

○　平成１９年４月６日（金）　入学式終了後（１１時～）
　　専攻科棟ゼミナール室３

【新入学生全員へのガイダンス】　担当：石井専攻科長

１．専攻科長挨拶
２．シラバスの説明
　・専攻科の概要
　・「複合型システム工学」教育プログラムおよび学習・教育目標の説明
　・学位取得
　・修了要件、進級要件
　・単位の修得（試験、欠課）
　・卒業後の進路
　・年間行事予定
３．未来大との単位互換について　・・・・・・・・資料
４．表彰について
　優秀学生賞：修了までの期間成績が特に優秀で且つ他の学生の模範となったと認められる者
　特別研究プレゼンテーション優秀賞：特別研究発表会の評価が最も高い者

平成１９年度函館高専専攻科ガイダンス（第２学年）

○　平成１９年４月１１日（水）　８：５０～
　　専攻科棟ゼミナール室１　生産システム工学専攻２年
　　ゼミナール室２　環境システム工学専攻２年

【専攻ごとのガイダンス】　担当：藤原（孝）副専攻長
　　（生産システム工学専攻２年担任）
　　大久保副専攻長
　　（環境システム工学専攻２年担任）

１．シラバスの説明
２．「複合型システム工学」教育プログラムの学習・教育目標の説明
３．科目の履修について
　　シラバス，学習・教育目標と科目の対応表，
　　学習・教育目標達成度評価確認表，履修科目届け
４．未来大との単位互換について　・・・・・・・・　資料
５．学位授与申請について　・・・・　新しい学士への途
６．表彰について
　優秀学生賞：修了までの期間成績が特に優秀で且つ他の学生の模範となったと認められる者
　特別研究プレゼンテーション優秀賞：特別研究発表会の評価が最も高い者

（出典　学生係資料）

資料７－１－①－５

平成18年度入学生用　　**学習・教育目標達成度評価確認表**　　（機械工学科卒業生）

生産システム工学専攻　　１ 学年　　氏名 [redacted]

学習・教育目標		達成度評価項目	達成度中間評価 H18.4月	H18.10月	H19.10	H19.2月	備考	総合評価
A 創造力と実行力	A-1	「特別実験(PBL)(専1)」において，設計から製作までの計画を発表させ，評価する．(計画の評価が60%以上)		○			[redacted]	
		「特別研究Ⅰ(専1)」において，研究計画を立てて継続して実行したことを研究計画書および研究日誌により評価する．研究計画書が研究日誌に添付されており，研究時間が125時間以上．		○				
		「特別研究Ⅱ(専2)」において，研究計画を立てて継続して実行し，まとめたことを研究計画書および研究日誌により評価する．研究計画書が研究日誌に添付されており，研究時間が225時間以上．						
		「卒業研究(本科5年)」において，継続して実行したことを研究日誌により評価する．研究時間が(単位数×18時間)以上．	○					
	A-2	「特別実験(PBL)(専1)」において，担当教員による貢献度評価(通常点)が60%以上．		○			[redacted]	○
		「インターンシップ(専1)④」の総合評価が60%以上．		○				
	A-3	「特別実験(PBL)(専1)」の発表の中で，創意工夫をした点についての評価が60%以上．		○			[redacted]	○
B 専門技術の基礎知識	B-1							[redacted]
	数学	「応用数学(M4)④」	○				この中から6単位以上修得	○
		「応用解析学Ⅰ(専1)②」	○					
		「応用解析学Ⅱ(専1)②」		○				
	自然科学	「応用物理(M4)②」	○				この中から4単位以上修得	○
		「固体物性論(専1)②」						
		「資源地球化学(専1)②」		○				
		「生物工学基礎(専1)②」						
		[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]		

（次頁へつづく）

教員からのコメント

06年 4 月13 日	4,5年'C'科目の分の時間数要件に注意して下さい。 「人文社会」と「数学・自然」系の履習科目計画に注意。 必要なら再評価の申請を検討して下さい。　TOEICも注意。
06年 11月 3 日	再評価科目の単位取得に注意すること 専2科目の履修を確認しておくこと TOEICは計画的に準備すること
07年 4月18 日	履修届どおりで、この表はOK。 TOEICクリアと学協会で発表するための成果を出すよう計画する。
年　月　日	

（出典　学習・教育目標達成度評価確認表　抜粋）

資料７－１－①－６

〔平成19年度〕

授業計画書

函館工業高等専門学校

専　攻　科

2007 SYLLABUS

HAKODATE National College of Technology

Advanced Engineering Course

１．学習上の留意事項

（１）授業について

専攻科の１単位授業は 50 分とし、授業は講義、演習、実験及び実習のいずれか、又はこれらの併用により行なわれます。各授業科目の単位数は、１単位 45 時間の学習内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じ、次の基準により単位数を計算します。

①講義については、15 時間の授業をもって１単位とします。

②演習については、30 時間の授業をもって１単位とします。

③実験及び実習については、45 時間の授業をもって１単位とします。

従って、講義については１単位につき 30 時間の予習・復習などの自主的学習を前提に授業が計画されています。

（２）特別研究について

特別研究は、専攻科において特に重要視されています。これまで学習したことを踏まえて、２年間に渡り研究に取り組みます。研究テーマは未解決の問題であることから、教科書・参考書・模範解答のない学習形態となりますので、よく調べ、考え、議論し、主体的に取り組むことが必要です。また、研究の成果については、学協会等で行われる研究発表会で発表することを単位取得の条件としています。

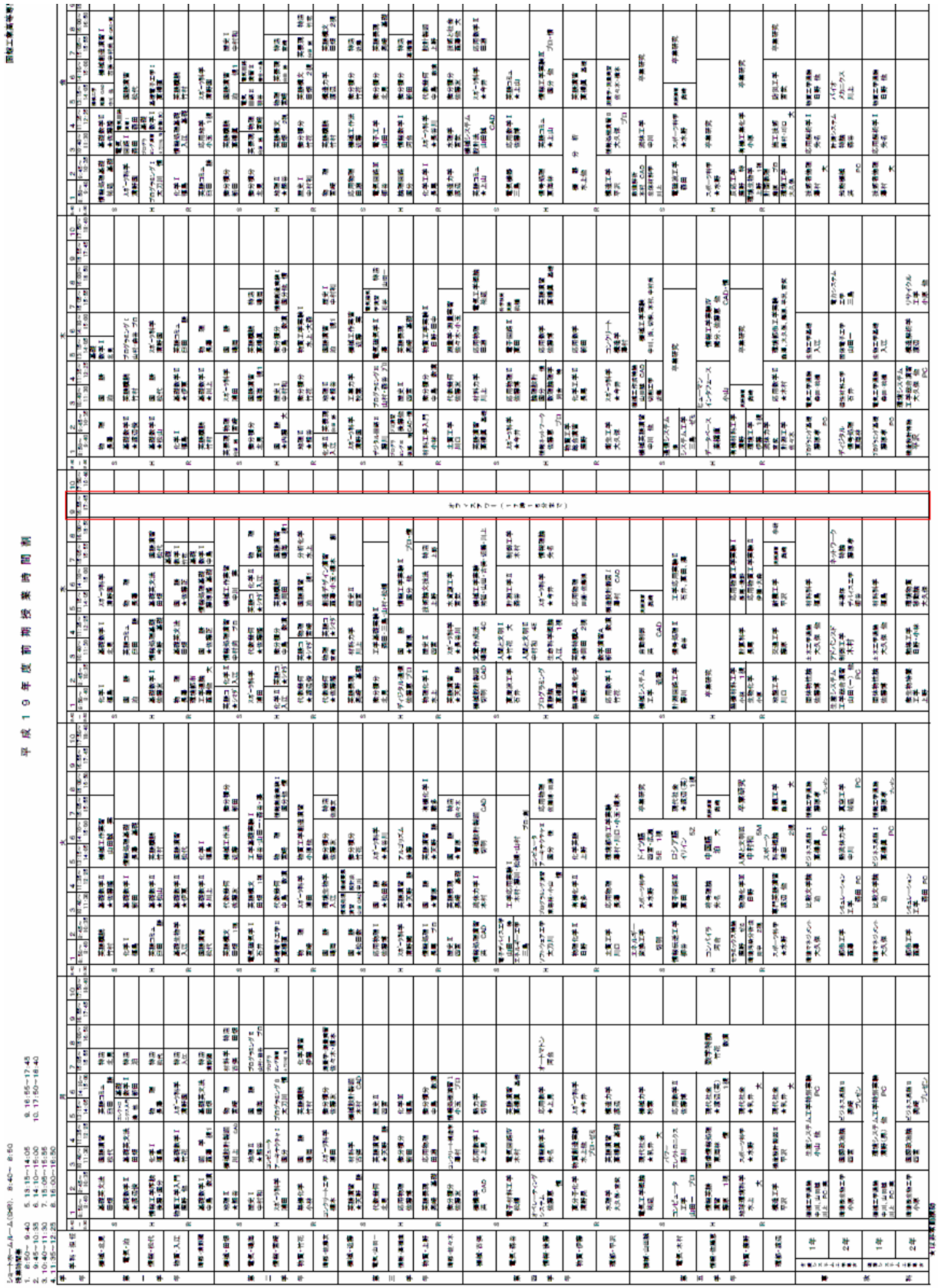
（３）試験

試験の種類には、次の定期試験、追試験及びその他の試験があります。

（出典　専攻科課程用シラバスより抜粋）

資料７－１－①－７

平成19年度前期時間割



（出典　学生係資料）

資料７－１－①－８

・【平成１８年度前期オフィスアワーの活用状況】

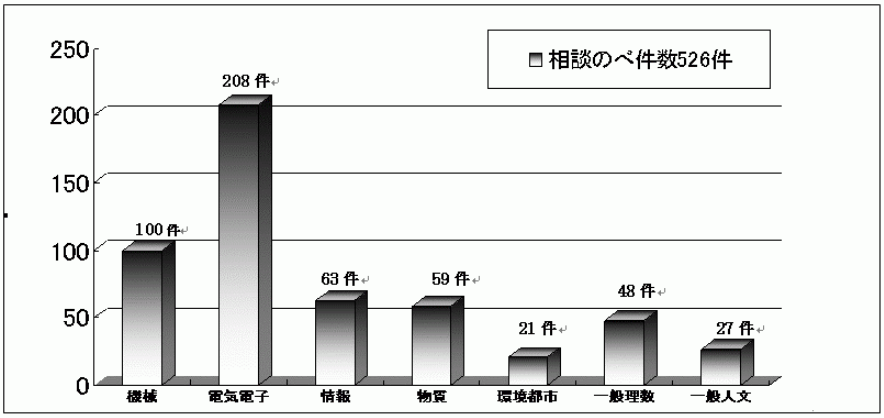


図１　平成 18 年度前期オフィスアワー　活用状況

・【平成１８年度後期オフィスアワーの活用状況】

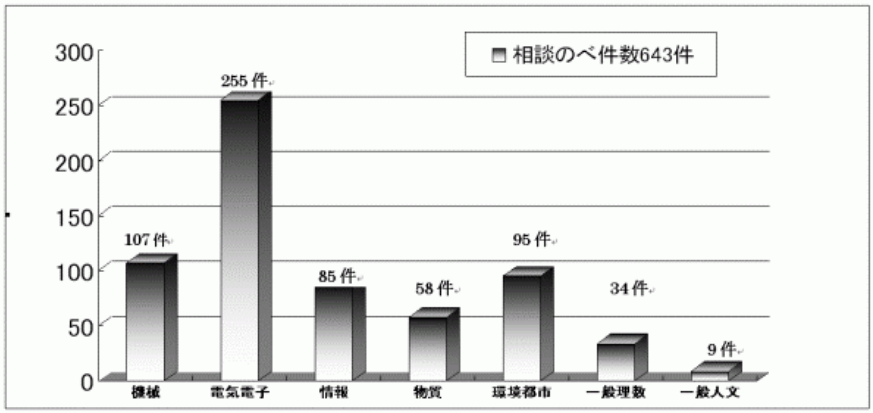


図１　平成 18 年度後期オフィスアワー　活用状況

（出典　教務係資料）

資料７－１－①－９

学生相談室相談内容内訳

相談内容（人数）	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
1.学業・進路	124	60	37	67	91	64	90	154
2.生活	52	16	20	22	21	15	22	25
3.対人関係	25	8	17	29	49	62	15	57
4.親子関係	83	33	44	19	18	11	11	19
5.心の病気	61	43	32	31	28	7	5	40
6.その他	168	103	77	42	53	53	71	44
計	513	263	227	210	260	212	214	339

（出典　学生相談室資料）

（分析結果とその根拠理由）

準学士課程の新入生には，宿泊研修において学校全体に関わる研修が適切に行われている。専攻科生は教育目標達成度確認表により学習達成度の計画・実施状況を，担任とともにチェックするシステムが存在し機能している。オフィスアワーに関しては，水曜日に時間を設定し，多くの相談実績があり，有効に機能している。

観点７－１－②：　自主的学習環境（例えば，自主学習スペース，図書館等が考えられる。）及び厚生施設，コミュニケーションスペース等のキャンパス生活環境等が整備され，効果的に利用されているか。

（観点に係る状況）

学生のためのコミュニケーションスペースとして，図書館内，図書館ロビー，学生玄関前ロビー，講義室近くに設けられた共有スペースがある（資料７－１－②－１）。多くの教員室前にも共有スペースが設けられ，自主的学習および教員との面談が可能である。図書館は平日午後８時まで，土曜日は16時まで開館しており，自学自習のためのスペースとして閲覧室が確保され22台の机が配置されている（資料７－１－②－２）。情報技術の自主的学習のために情報教育演習室が設けられており，プログラム演習室，CAD演習室，基礎情報処理演習室，図書演習室，専攻科情報演習室の５室が設置されている（資料７－１－②－３）。

厚生施設として，学生相談室，保健室，食堂，売店が完備され広く利用されている（資料７－１－②－４）。学生相談室では，学習相談，進路相談，対人関係問題などあらゆる悩みの相談に対応しており，効果的に利用されている（資料７－１－①－９）。

資料７－１－②－１

共有スペース

図書館ロビー

教員室前共有スペース

実験棟１階ロビー

学生玄関前ロビー

資料７－１－②－２

図書館 Library

図書館は学生及び教職員の学習，教育・研究支援を目的とした施設です。知識と豊かな教養を身につける場所として，美術書や読み継がれている文芸書，現在を語る雑誌を置き，授業のある期間の平日は20時まで，土曜日は16時まで開館しています。これら本校の蔵書は，館内はもとより図書館ホームページの「蔵書検索」で研究室，校外からも検索して所蔵の確認をすることができます。また，長岡技術科学大学を中心とするコンソーシアムへ参加していますので，従来の印刷体資料だけではなくＡＩＰ，サイエンスダイレクト等電子ジャーナルについても利用できるようになっています。平成19年度から「自学自習コーナー」としてより静かな環境の中に個人用机を15席設け，学生支援に力を入れています。

地方の方々へも一般公開し閲覧・貸出を行っています。

▲ 図書館 Library

開館日		Open	
月曜日～金曜日	9時～20時	Monday-Friday	9:00-20:00
土曜日	10時～16時	Saturday	10:00-16:00
春季・夏季・冬季・学年末休業期間中		Spring, Summer and Winter Vacation	
月曜日～金曜日	9時～17時	Monday-Friday	9:00-17:00
土曜日	休館	Saturday	Closed

休館日	Closed
日曜日，国民の祝日	Sunday, National Holidays
年末年始	New Year's Holiday

蔵書冊数（平成19年５月１日現在）
Collection of Books (As of May 1, 2007)

	図書（冊） Books (vols)	雑誌（種類） Periodicals (kinds)
和　書 Japanese	63,541 冊	371 種
洋　書 Foreign	4,602 冊	77 種
合　計 Total	68,143 冊	448 種

設　備 Equipments

ＣＡＤ演習室，プログラム演習室と同環境のパソコンが15台あり，インターネットを利用した情報収集や課題学習，自習に利用できます。無線ＬＡＮのアクセスポイントもありますので個人のノートパソコンを持参して利用できる環境です。また，ＤＶＤ／ビデオ機器４台とビデオ等が620本あります。

▲ 図書演習室 Training Room

（出典 平成19年度 学校要覧 31頁）

資料７－１－②－３

学術情報教育センター　Education Center for Library and Computers

学術情報教育センターは情報処理教育，ＣＡＤ（計算機支援設計）教育および卒業研究，学術研究等に利用可能な各学科共通の施設である情報教育演習室と図書館から構成されています。５室からなる情報教育演習室にはパソコンが合計200台以上用意されており，学習や教育に大いに利用されています。また，本校には高速な学内情報ネットワークが設備されており，校内のすべての部屋と共有スペースに設置された情報コンセントや無線ＬＡＮを通じて校内のどこからでもパソコンをネットワーク接続できます。学内情報ネットワークは本センターを通じてインターネットに接続されていますので，電子メールの利用やホームページ閲覧，図書の検索も行うことができます。

▲ プログラム演習室　Program Training Room

コンピューター構成　Computer Systems

サーバー室	教育用 Windows2001サーバー	6台
	教育用 Linux サーバー	4台
	ネットワーク用サーバー	6台
プログラム演習室	IBM PC Windows XP/Linux	53台
ＣＡＤ演習室	IBM PC Windows XP/Linux	53台
基礎情報処理演習室	IBM PC Windows NT	53台
図書演習室	IBM PC Windows XP/Linux	15台
専攻科情報演習室	IBM PC Windows XP/Linux	34台

ソフトウェア構成　Software Systems

OS	：OS:Windows 2000&XP, Red Hat Linux
Application	：Microsoft OfficeXP Professional (Excel, MS-Word, PowerPoint) Microsoft Visual Studio.NET Auto CAD LT, Solid Edge C, C++, Fortran, Java

（出典　平成19年度 要覧 30頁）

資料７－１－②－４

福利施設　Welfare Facilities

福利会館は，学生と教職員の福利厚生を目的として，昭和59年４月に完成しました。

１階は学生・教職員のための施設があり，憩いの空間であるロビーでは，学生のコミュニケーションや団らんの場として利用されています。２階は学生会の活動やクラブ活動の場として学生のために開放しています。

▲ 福利施設　Welfare Facilities

主な設備　Main Equipments

1階 First Floor	食堂 Cafeteria	売店 School Store	保健室 Infirmary	学生相談室 Counseling Center
2階 Second Floor	学生会室 Students Council Room	課外活動共用室 Common Room for Extra Curricular Activities	音楽室 Music Room	暗室 Darkroom

▲ 売店　School Store

▲ 食堂　Cafeteria

（出典　平成19年度 要覧 35頁）

（分析結果とその根拠理由）

学生が自主学習を行うための共有スペースが多く備えられている。教員室前の共有スペースは教員とのコミュニケーションを図る上で有効である。情報教育演習室（プログラム演習室，ＣＡＤ演習室，基礎情報処理演習室，図書演習室，専攻科情報演習室）が設けられており，情報技術の自主的学習に対して十分な環境が整えられている。学生相談室など厚生施設が整備され，効果的に利用されている。

観点７－１－③：　学習支援に関する学生のニーズ（例えば，資格試験や検定試験受講，外国留学等に関する学習支援等が考えられる。）が適切に把握されているか。

（観点に係る状況）

クラス担任やオフィスアワー制度により,随時学生との直接的な対話が可能な体制となっている。間接的な対話方法として，学生玄関ロビーに「学生意見箱」が設置され，学生の意見・要望に対して校長が目を通し，その要望にできるだけ学校全体で対応していく体制を整えている。回答は学生玄関前に大きく掲示するとともに，学内向けウェブサイトで公開している（資料７－１－③－１）。年に一度の保護者懇談会では保護者を通じて学生のニーズを聞く機会を設けている（資料７－１－③－２）。

資料７－１－③－１

この度，学生意見箱に意見が寄せられ，次のとおり検討しましたので通知します。

平成１８年１月１８日
校　長　　長谷川　淳

学生意見の概要
図書館のＰＣにAUTO CAD LT2002を入れてほしい。（環境都市工学科）

学校の検討結果
AUTO CAD LT2002は，CAD演習室の50台のクライアントＰＣでのみ使用するライセンス契約となっていますので，図書館のＰＣで使用することができません。
そこで，放課後，CAD演習室を使用したい場合には，教科担当教員に申し出て下さい。随時，補習を実施します。
もし，CAD演習室が授業等で使用できない場合には，環境都市工学科「構造解析室」でAUTO CAD LT2002を使用できますので，教科担当者又はCAD演習室担当の渡辺教員に申し出て下さい。この際，課題のファイルをFD又はメモリスティックなどの媒体にいれて，持参して下さい。

（出典　本校ウェブサイト（学内専用）　http://10.120.10.5/~iw-soumu/ikenbako/）

資料７－１－③－２

平成18年度保護者懇談会時間割表

時間割表（11月1日水曜日）

学年	担任	学科	公開授業1 8：50～9：40	公開授業2 9：45～10：35	10：40～12：25	13：15～15：45
			懇談は予め設定した時間で個別実施・教員は公開授業以外では研究室にて待機 ９：００～１７：００			
1	菅	M	基礎数学Ⅰ(新田)　HR教室		全体懇談会（教務・学生・寮務）	TOEIC OPEN（教務委員試験監督）百五十一名申込　四教室で実施
	清野	E	基礎数学Ⅰ(北見)　HR教室			
	宮崎	J	基礎電子工学Ⅰ(高橋直)　HR教室			
	竹花	C	国語演習（松代）　HR教室			
	佐藤友	Z	応用地学(小玉)　＊第二視聴覚教室			
2	田畑	M	機械工作法(近藤)　HR教室			
	臼田	E	電磁気学(森田)　HR教室			
	鳴海	J	コンピュータアーキテクチャⅠ(國分)＊情報3F			
	四宮	C	微分積分(中島)　＊数学演習室			
	長澤	Z	情報処理演習Ⅰ(橋本)　＊プロ演習室			
3	古俣	M	工業力学（秋葉）　HR教室			
	森谷	E	デジタル回路Ⅱ（藤川）　HR教室			
	後藤	J	情報数学Ⅰ(河合)　HR教室			
	伊藤	C	設計製図（上野）　HR教室			
	平沢	Z	水資源工学(大久保)HR教室			
4	切明	M	英語演習（高橋眞）＊情報処理基礎演習室			
	木村	E	応用数学Ⅰ（佐藤博）　HR教室			
	佐藤恵	J	プログラミング演習(東海林、小山)＊情報4F			
	鹿野	C	化学工学Ⅱ（長尾）HR教室			
	渡辺	Z	土質工学(川口)HR教室			
5	本村	M	伝熱工学（山田）　HR教室			
	柳谷	E	英語演習（奥崎）＊語学演習室	システム工学(三島) HR教室		
	太刀川	J	確率統計学(東海林)　HR教室			
	日野	C	プロセス工学（小林）HR教室			
	藤原	Z	地域計画（佐々木）HR教室			
			流体力学（宮武）＊第一視聴覚教室			

（出典　教務係資料）

（分析結果とその根拠理由）

クラス担任・オフィスアワー制度においては，学生の意見を直接的に吸い上げることが可能な体制であり，学生意見箱においても学生のニーズを把握することができている。さらに保護者懇談会では，保護者を通じて学生のニーズを把握する機会を設けている。

観点７－１－④：　資格試験や検定試験受講，外国留学のための支援体制が整備され，機能しているか。

（観点に係る状況）

英検および工業英検は，一般科目英語科において受付を行い，英検の２次試験に対する個別指導も実施しており，合格は準学士課程４・５年生の英語演習の単位修得として認められている（資料７－１－④－１，資料７－１－④－２）。TOEICについては，年に数回IP試験を学内にて実施しており（資料７－１－③－２），480点以上の得点で１単位として認められる。なお，TOEICオープンは準学士課程および専攻科課程それぞれ一度無料で受験が可能な体制としており，平成18年11月開催の試験は受験者数151名の実績となっている。

準学士課程生の海外留学について，留学中に取得した単位については他大学等の場合と同様に30単位を限度に単位認定を行うことができる（資料７－１－④－３）。専攻科生については，「専攻科における長期にわたる教育課程の履修に関する規程」が制定されている（資料７－１－④－４）。また，国際活動推進部会が発足し韓国の釜慶大学校との協定が結ばれた。（資料７－１－④－５）。

資料７－１－④－１

特別学修による単位認定

７．特別学修による単位修得 → 資格を取ったら講義は免除

●英語の単位免除：

実用英語技能検定試験（通称：英検）、工業英語能力検定（通称：工業英検）に合格し、またＴＯＥＩＣ（Test of English for International Communication の略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテスト）で４８０点以上得点すると、下の表のような級別に認められた単位数の範囲内で、４年生・５年生の「英語演習」の受講が免除になります。

技能審査の種別	級	単位数
実用英語技能検定試験	１級	8
	準１級	4
	２級	2
工業英語能力検定試験	１級	8
	２級	4
	３級	2
ＴＯＥＩＣ	４８０点～	1

たとえば、実用英検の２級と工業英検の３級の両方に合格すれば、４年生と５年生の「英語演習」の授業がそれぞれ免除され、成績はいずれも１００点（評価「優」）となります。詳しい手続きは、学年末近くに掲示されますから、該当する学生は学生課教務係に申し出て、「特別学修による単位修得認定申請書」を受け取り、関係書類をそえて申請して下さい。

（出典　平成19年度学生生活の手引き22頁）

資料７－１－④－２

平成19年度　特別学修による単位修得認定者一覧

被認定者30名

	申　請　者	学　　科	学　　年	合格した技能審査の名称	修得認定科目等 学年	科　目	単位
1	[illegible]	機械工学科	第4学年	工業英語能力検定3級	5年	英語演習	1
2	[illegible]	電気電子工学科	第4学年	工業英語能力検定3級	5年	英語演習	1
3	[illegible]	電気電子工学科	第4学年	工業英語能力検定3級	5年	英語演習	1
4	[illegible]	電気電子工学科	第4学年	TOEIC （480点以上）	5年	英語演習	1
5	[illegible]	情報工学科	第4学年	工業英語能力検定3級	5年	英語演習	1
6	[illegible]	情報工学科	第4学年	実用英語技能検定2級	5年	英語演習	1
7	[illegible]	情報工学科	第4学年	工業英語能力検定3級	5年	英語演習	1
8	[illegible]	物質工学科	第4学年	工業英語能力検定3級	5年	英語演習	1
9	[illegible]	物質工学科	第4学年	実用英語技能検定2級	5年	英語演習	1
10	[illegible]	物質工学科	第4学年	実用英語技能検定2級	5年	英語演習	1
11	[illegible]	物質工学科	第4学年	TOEIC （480点以上）	5年	英語演習	1
12	[illegible]	物質工学科	第4学年	工業英語能力検定3級	5年	英語演習	1
13	[illegible]	物質工学科	第4学年	実用英語技能検定2級	5年	英語演習	1
14	[illegible]	電気電子工学科	第3学年	工業英語能力検定3級	4年	英語演習	2
15	[illegible]	電気電子工学科	第3学年	工業英語能力検定3級	4年	英語演習	2

（出典　教務係資料）

資料７－１－④－３

函館工業高等専門学校学則（抜粋）

（留学）
第27条の2　校長は，教育上有益と認めるときは，学生が外国の高等学校又は大学に留学することを許可することができる。
（他の高等専門学校における授業科目の履修）
第28条　校長は，教育上有益と認めるときは，学生が他の高等専門学校において履修した授業科目について修得した単位を，30単位を超えない範囲で本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
（高等専門学校以外の教育施設等における学修等）
第28条の2　校長は，教育上有益と認めるときは，学生が行う大学における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を，本校における授業科目の履修とみなし，単位の修得を認定することができる。
2　前項により認定することができる単位数は，前条により本校において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
3　第1項の規定は，学則第27条の2に定める留学する場合に準用する。この場合において認定することができる単位数は30単位を超えないものとする。
4　校長は，前項の規定により単位の修得を認定された学生について，学年の途中においても，各学年の課程の修了又は卒業を認めることができる。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05700011.htmlより）

資料７－１－④－４

○函館工業高等専門学校専攻科における長期にわたる教育課程の履修に関する規程

平成18年12月11日
達第11号

函館工業高等専門学校専攻科における長期にわたる教育課程の履修に関する規程

（趣旨）

第1条　この規程は，函館工業高等専門学校学則(昭和37年4月1日制定)第35条の2第3項の規定に基づき，専攻科における長期にわたる教育課程の履修(以下「長期履修」という。)に関し，必要な事項を定めるものとする。

（資格）

第2条　長期履修を希望し，修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修できる者は，次のいずれかに該当するものとする。

一　留学や長期インターンシップ等を行う者
二　企業等の常勤の職員又は自ら事業を行っている者
三　出産・育児・介護等を行う必要がある者
四　その他長期履修をすることが必要と認められる者

（申請手続）

第3条　長期履修を希望する者は，次に掲げる書類を校長に提出しなければならない。

一　長期にわたる教育課程の履修申請書(様式1)
二　第2条第二号に該当する場合は，在職証明書(様式2)
三　履修計画書(形式自由)
四　その他必要と認める書類

2　前項の規定による申請は，次の各号に掲げる区分により，当該各号に掲げる日までに行わなければならない。

一　入学時において長期履修を希望する場合，入学手続き期間の最終日
二　学年の中途において長期履修への履修形態の変更を希望する場合，変更を希望する年度の前年度の3月31日

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05702211.html）

資料７－１－④－５

函館工業高等専門学校と釜慶大学校工科大学との間における学術交流に関する協定書

函館工業高等専門学校と釜慶大学校工科大学は，学問と教育の相互交流と国際的理解を促進するために，この協定を締結する。

１．　この協定は，両機関相互の自主性を尊重し，相互に興味のある研究及び教育に関する分野の交流を促進することを目的とする。

２．　両機関は，次の事項について協力し合うことに合意する。

（１）教育・研究に関する教職員及び研究者の交流

（２）学生の交流

（３）共同研究開発及び研究集会等の実施

（４）学術・教育資料，刊行物及び情報の交換

３．　前項の諸活動を具体的に行うに当たっては，両機関の協議により実施計画を定めるものとする。

４．　教職員及び研究者の交流に係る全ての費用は，原則として教職員及び研究者個人またはその所属機関が責任を持つものとする。

５．　この協定は，関係機関の議を経て双方の責任者が署名した日から効力発するものとする。

６．　この協定の有効期間は５年間とし，期間満了時に双方協議の上継続する。

７．　この協定書は，日本語，韓国語で各２通作成され，各文書は等しく正文である。

（署名）長谷川　淳　　（署名）鄭海用

長谷川　淳　　鄭　海用

函館工業高等専門学校　校長　　釜慶大学校　工科大学　学長

2007年3月23日　　2007年3月23日

（出典　本校ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/topics/H190323kyotei/index.htm）

（分析結果とその根拠理由）

英検・工業英検・TOEICともに合格者は英語演習の単位修得として認められるため，学生の学習意欲を促す役割を果たしている。外国留学に関しては，国際活動推進部会の働きかけによって，韓国の釜慶大学校との協定が結ばれ，交流が予定されている。

観点７－１－⑤：　特別な支援を行うことが必要と考えられる者（例えば，留学生，編入学生，社会人学生，障害のある学生等が考えられる。）への学習支援体制が整備されているか。また，必要に応じて学習支援が行われているか。

（観点に係る状況）

留学生ごとに指導教員を配置するほか，学生によるチューター制度（資料７－１－⑤－１）や日本語・日本事情および工学基礎科目など特別な科目（資料７－１－⑤－２）を設定している。留学生の指導に対しては，外国人留学生委員会（資料７－１－⑤－３）が設置され，組織的に留学生の受入れや教育指導・厚生補導等に関する活動を行っている。

工業高等学校等からの編入学については，必要な知識・能力が不足している場合もあるため，物理，数学，専門科目等についてはそれぞれ面談を行って内容とレベルを確認し（資料７－１－⑤－４）状況に応じて補講等を行っている（資料７－１－⑤－５）。

資料７－１－⑤－１

○函館工業高等専門学校外国人留学生チューター制度実施要項

平成3年2月18日
制定

函館工業高等専門学校外国人留学生チューター制度実施要項

（趣旨）
1．函館工業高等専門学校外国人留学生規程第5条の規定に基づくチューターについては，この実施要項によるものとする。
（委嘱）
2．チューターは，当該外国人留学生(以下「留学生」という。)と同一学科の学生の中から，留学生指導教員(以下「指導教員」という。)が主事，当該学科主任及び学級担任と協議のうえ推薦し，校長が委嘱する。
（委嘱期間）
3．チューターの委嘱期間は，原則として1年とする。
（指導期間）
4．留学生の課外指導は，入学後最初の2年間とする。
（指導時間）
5．課外指導時間は，原則として週2回，各2時間とし，年間実施総週数は30週を標準とする。
（指導報告書）
6．チューターは，指導報告書(別紙様式第1号)を指導教員を経由し，学生課寮務係長(以下「寮務係長」という。)へ翌月の5日までに提出するものとする。
（指導時間数報告書）
7．寮務係長は，チューターから提出された指導報告書に基づき，チューター指導の実施完了を確認のうえ，指導時間数報告書(別記様式第2号)を作成し，総務課に提出する。
（指導謝金）
8．前項の指導時間数報告書に基づき，予算の範囲内で四半期ごとに謝金を支給する。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05701851.html ）

資料７－１－⑤－２

留学生時間割

（出典　教務係資料 ）

資料７－１－⑤－３

○函館工業高等専門学校外国人留学生委員会規程

平成11年12月22日
函高専達第16号

函館工業高等専門学校外国人留学生委員会規程

（趣旨）
第1条　函館工業高等専門学校外国人留学生規程第4条の規定に基づき，函館工業高等専門学校外国人留学生委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営について定めるものとする。
（審議事項）
第2条　委員会は，次の各号に掲げる事項を審議する。
一　留学生の受入れに関すること。
二　留学生の教育指導に関すること。
三　留学生の厚生補導に関すること。
四　その他，委員会が必要と認める事項
（組織）
第3条　委員会は，次に掲げる者をもつて組織する。
一　寮務主事
二　留学生指導教員
三　学生課長
四　その他校長が必要と認めた者
2　前項第2号及び第4号の委員の任期は1年とし，再任を妨げない。ただし，欠員が生じた場合の後任の委員の任期は，前任者の残余の期間とする。
（委員長）
第4条　委員会に委員長を置き，寮務主事をもつて充てる。
2　委員長は，委員会を招集しその議長となる。
（委員以外の者の出席）
第5条　委員長は，委員会に委員以外の者の出席を求め，意見を聴くことができる。
（庶務）
第6条　委員会の事務は，学生課において処理する。
（雑則）
第7条　この規程に定めるもののほか，必要な事項は校長が定める。
附　則
この規程は，平成11年12月22日から施行する。
附　則
この規程は，平成16年4月1日から施行する。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05701241.html ）

資料７－１－⑤－４

物質工学科　H18 年度４学年編入生の知識・能力調査について

[redacted]高校から物質工学科第４学年に編入した学生に面談を行い、専門科目についての知識・能力についてのレベルを確認した。

１．日程

日時：４月１７日　16:00～

場所：物質工学科鹿野研究室

参加者：水上（学科主任）、長尾（教務委員）、鹿野（担任）

編入生：[redacted]

２．面談の結果

工業高校における成績（表１）および編入試験結果（表２）を面談で確認し、本学科３学年修了と同等以上の知識・能力を有していることを判断した。

表１　工業高校における５段階評価

科目	第１学年	第２学年	第３学年	単位数
理科総合理科Ａ	-------	5	---------	2
理科総合理科Ｂ	5	---------	--------	2
工業化学演習	5	5	5	9
工業化学製図	--------	-------	5	2
工業化学	5	5	5	１１
化学工学	4	4	4	6
地球環境化学	---------	---------	4	3
生産ｼｽﾃﾑ技術				2
生活と化学				2

表２　編入学試験結果

数学（100 点）	英語（100 点）	専門科目（100 点）	合計（300 点）
75 点	41 点	63 点	179 点

文章作成者　水上　正勝　印

鹿野　弘二　印

（出典　ＪＡＢＥＥ自己点検書　資料3.1-17 ）

資料７－１－⑤－５

４年次編入学生への対応について

応用物理（４年機械工学科，４年物質工学科），応用数学Ⅱ（４年機械工学科）担当
田淵　正幸

[redacted]への対応

４月 20 日（木）に本人との面談を行い，特に数学の高校での履修状況と，現時点での知識，能力を確認した．

応用物理については，必要な数学（特に微分積分）について，ほぼ習得済であり，特別な指導は必要ないと判断した．

応用数学Ⅱについては，必要な数学（特に微分積分）について，積分，特に部分積分法が未習得で知識が不足している．この点については，応用数学Ⅰ担当の菅教員と連携して指導するとともに，講義で必要になった段階で，適宜補講などを行うこととした．

[redacted]への対応

４月 26 日（水）に本人と面談を行い，高校での履修状況と，現時点での知識，能力を確認した結果，応用物理について，特別な指導は必要ないと判断した．

（出典　ＪＡＢＥＥ自己点検書　資料3.1-17）

（分析結果とその根拠理由）

留学生に対しては，チューター制度や特別な授業科目の実施により学習支援を組織的に行っている。編入学生については各学科でそれぞれ面接を行って物理，数学，専門科目等に対して個別に補講を実施している。

観点７－１－⑥：　学生のクラブ活動や学生会等の課外活動に対する支援体制が整備され，機能しているか。

（観点に係る状況）

全てのクラブに複数顧問教員（2～4名）を配置し組織的な支援を行っている（資料７－１－⑥－１）。学生会活動では，学生会の自主的な活動場所を確保する上で学生会室を設け（資料７－１－②－４），各行事の際には，担任，学生委員および事務職員が協力し円滑な実施の補助に務めている。リーダー研修会やスポーツ安全講習会がクラブ活動に対する支援として毎年開催されている（資料７－１－⑥－２）。外部コーチ制度が導入され，学生の技術的な側面の支援の充実が図られている（資料７－１－⑥－３）。ロボットコンテスト，プログラミングコンテストについては，コンテスト部会が中心となり，指導顧問教員以外の教員も含めた教員団と実習工場との連携によるバックアップ体制を組んで支援している（資料７－１－⑥－４）。

資金面の支援としては，育成会において資金支援による学生遠征基金を設けていただき，専体協地区大会，同全国大会などのクラブ遠征に対して金銭的な支援をいただいている（資料７－１－⑥－５）。

資料７－１－⑥－１

平成18年度クラブ指導教員（案）　H18.1

卓球部	長澤　修一	田淵　正幸	福島　　純	鹿野　弘二
男子バスケ部	小林　淳哉	渡辺　力	山村　　豊	（電気新任）
女子バスケ部	小林　淳哉	渡辺　力		
アーチェリー部	川上　健作	高橋　真規子	佐々木　恵一	藤原　孝洋
サッカー部	（電気新任）	（情報新任）	（機械新任）	（環都新任）
硬式野球部	山田　誠	柳谷　俊一	東海林　智也	（環都新任）
バドミントン部	古俣　和直	森谷　健二	鳴海　雅哉	後藤　等
男子バレー部	北見　健	泊　功	宮崎　真長	
女子バレー部	奥崎　真理子	（情報新任）		
柔道部	清野　國安	高橋　直樹	長尾　輝夫	
陸上競技部	菅　仁志	四宮　宏貴	田畑　緩己	（環都新任）
テニス部	浜　克己	本村　真治	伊藤　穂高	近藤　司
ラグビー部	浦田　清	国分　進	大久保　孝樹	佐藤　友信
剣道部	澤村　秀治	新田　一夫	藤原　隆	河合　博之
水泳部	松代　周平	臼田　悦之	山田　一雅	上野　孝
空手道部	竹花　靖彦	中島　正美	佐藤　恵一	
アウトドア倶楽部	国分　進	後藤　等		
吹奏楽部	川口　貴之	大森　幸子	平沢　秀之	入江　俊明
軽音楽部	竹村　雅史	高田　明雄		
埋蔵文化財研究会	中村　和之	高橋　直樹		
将棋部	竹花　靖彦	中島　正美		
応援団	佐藤　博保	祐延　悟		
新聞局	太刀川　寛	田中　孝		
文化局	石井　良博	森田　孝		

（出典　学生係資料 ）

資料７－１－⑥－２

平成１９年度の学校行事一覧

【前　　期】		【後　　期】	
４月	入学式	１０月	専体協地区ラグビー大会（函館）
	新入生宿泊研修		ロボコン北海道地区大会（苫小牧）
	二輪車実技講習会		高専祭
	安全運転講習会（春）		安全運転講習会（秋）
	新入生歓迎会		
		１１月	保護者懇談会・授業参観
５月	学生総会		ロボコン全国大会
	交通安全講話		後期中間試験
	スポーツ安全講習会		
		１２月	冬季スポーツ大会
６月	前期中間試験		学生会役員選挙
	体育祭		冬季休業（22日から）
７月	壮行会	１月	冬季休業（8日まで）
	専体協地区大会		専体協全国大会ラグビー大会
	夏季休業（21日から）		
		２月	学年末試験
８月	専体協全国大会（四国地区）		予餞会
	夏季休業（26日まで）		特別指導期間（27日から３月７まで）
９月	前期期末試験	３月	学年末休業（８日から）
	特別指導期間（26～28日）		卒業式

（出典　平成19年度学生生活の手引き36頁）

資料７－１－⑥－３

外部コーチ制度要項

１ 目　的　　部活動の充実を図るため本校顧問教員に代わって専門的技術指導を担当するために任用する。

２任用条件

1）本校授業環境、年間行事等を理解して指導にあたっていただける方
2）当該種目において専門的技術指導に精通している方。指導員の資格又は審判資格を持っている方が望ましい。
3）賠償責任保険に加入すること。

３任用方法　顧問教員の推薦により学生主事との面談を経て校長が委嘱する。

４任用期間　１年間

５業　務

1）本校顧問教員に代わって放課後又は休日に技術指導にあたる。
2）顧問教員を補佐し安全対策指導にも注意を払う
3）部主将等と相談し適切な練習計画を立てる。
4）協会又は連盟等への登録の際に監督、コーチとして登録してもらう。
5）本校教員に代わって大会時に審判にあたる。

（出典　学生係資料 ）

資料７－１－⑥－４

○函館工業高等専門学校運営委員会コンテスト部会要項

平成15年4月1日
運営委員会委員長裁定

函館工業高等専門学校運営委員会コンテスト部会要項

（趣旨）
第1条　函館工業高等専門学校運営委員会規程第7条第2項に基づき，函館工業高等専門学校(以下「本校」という。)におけるロボットコンテスト，プログラミングコンテスト及びマテリアルコンテスト等への対応を確立し，コンテストへの学生の出場を支援することを目的として，運営委員会にコンテスト部会(以下「部会」という。)を置く。
（審議事項）
第2条　部会は，次の各号に掲げる事項を審議する。
一　コンテスト出場者の募集及び選考に関すること
二　コンテスト出場にかかる予算に関すること
三　コンテスト出場にかかる制作環境の整備に関すること
四　その他コンテストに関すること
（組織）
第3条　部会の委員は，本校の専任教員のうちから校長が指名する。
（部会長等）
第4条　部会に部会長を置き，前条の委員のうちから校長が指名する。
2　部会長は，部会を招集しその議長となる。
3　部会長に事故あるときは，あらかじめ部会長が指名した委員がその職務を代行する。
（委員以外の者の出席）
第5条　部会長は，部会に委員以外の者の出席を求め，意見を聴くことができる。
（幹事）
第6条　部会の事務を円滑に行うため幹事を置き，学生課長をもつて充てる。
（庶務）
第7条　部会の事務は，学生課において処理する。
（雑則）
第8条　この要項に定めるもののほか，部会の運営に関し必要な事項は部会が別に定める。
附　則
この要項は，平成15年4月1日から施行する。
附　則
この規程は，平成16年4月1日から施行する。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05701731.html ）

資料７－１－⑥－５

函館工業高等専門学校学生会遠征基金運用規程

第１章　総　則

（目　的）

第１条　この規程は，函館工業高等専門学校学生会遠征基金（以下「基金」という。）の円滑な運用を図るため，その組織ならびに方法等について定めることを目的とする。

（定　義）

第２条　基金とは，学校の承認と協力の下に，特別活動として行われる学生のクラブ等の遠征を助成するために設ける資金をいう。

第２章　運営委員会

（委員会の設置）

第３条　基金の適正な運用を期するために運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（委員会の構成）

第４条　委員会は，次の学生会役員をもって構成する。

一　学生会会長　１名

二　学生会副会長　１名

三　学生会会計　２名

四　体育局長，文化局長　各１名

第４章　事　業

（事　業）

第 11 条　委員会は，基金を次の事業に運用するものとする。

一　遠征費の助成

二　高等専門学校体育大会（以下「専体協」という。）　参加料等

三　前各号の事業に附帯する業務

（遠征費の助成）

第 12 条　基金が助成の対象とする遠征は次のとおりとする。

一　専体協遠征（委員会が専体協遠征に準ずると認定したものを含む。）

二　普通遠征

2　専体協遠征に対する助成については，学生会会長が委員会の承認を受けたものに対して行う。

3　普通遠征に対する助成については，助成を希望するクラブ等の申請に基づき，委員会が遠征計画を審査し，承認を受けたものに対して行う。

（審査の留意点）

（出典　平成19年度学生生活の手引き137頁）

（分析結果とその根拠理由）

クラブ活動は，複数顧問体制，外部コーチ制度によりその運営を支援するための適切な体制が整備されており機能している。資金面においても育成会からの学生遠征基金によって支援が行われている。

観点７－２－①：　学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言を行う体制が整備され，機能しているか。

（観点に係る状況）

準学士課程において，学級担任は毎朝10分間のＳＨＲを行い，学生に対して各種情報の周知徹底を図っている。１～３学年は特別活動が１時間確保されており（資料７－２－①－１），学生に対して教育や学生生活に関する指導が行われている。専攻科の学生に対しても担任を配置し対応している。学生相談室は，あらゆる悩みや問題に対する相談に対応しており（資料７－２－①－２），相談件数は増加し機能している（資料７－２－①－３）。

経済面の支援として，日本学生支援機構奨学金，函館市奨学生等の各種奨学金の案内を行うとともに，奨学金応募の窓口としての支援を学生課において行っている（資料７－２－①－４）。授業料の減免措置（資料７－２－①－５）は，規程と選考基準に基づいて対象学生を選考し，全額または半額免除が行われている（資料７－２－①－６）。

資料７－２－①－１

８．特別活動その他　→　クラスの活動に関わる学修

●特別活動（ホームルーム）：

１年生から３年生までの各学年に週１時間割り当てられている時間です。クラスの親睦や高専での生活に必要なルールの理解、学校行事に対するクラスとしての取り組みや学生会との連携を相談したり、教科に属さないあらゆる事柄を学級担任の指導のもとで、クラス毎に様々な活動が繰り広げられます。なお、特別活動の出席日数は、年間の出席すべき日数の１０分の８以上が必要である。

●学校行事：

学校全体で行なう様々な行事に参加が義務づけられています。学級担任が出席を確認し、遅刻や欠席は成績表に記入されます。これらへの参加状況も進級の判断材料となります。また、就職や進学の重要な資料となり、本人に返ってきます。なお、学校行事の内容については、「年間行事予定表」やｐ.36の「学校行事一覧」を参照してください。

（出典　平成19年度 学生生活の手引き24頁 ）

資料７－２－①－２

４　学生相談室　－心にゆとりとやすらぎをもたらすために

学生相談室は福利会館１階，「保健室」と表示されたドアを入って右側にあります。以下の時間帯で，担当の先生方が皆さんの気持ちを親身になって聞いてくれます。また、そこで話し合った内容は秘密にしているので他人に漏れることもありません。

何か特別な悩みとか、重大な相談に限らず、「誰に聞いたらいいのだろう？」「ちょっと聞いて欲しいなぁ」と思うときには、いつでも気軽に来室してください。一見小さな相談、つまらない相談のように思えることでも、その人にとっては重大なことですから、どのような相談内容にも真剣に取り組んでいます。

開　室　日　　月曜日　～　金曜日
開室時間　　１５：１５　～　１７：１５

・新田　一夫　（教員）
・高橋　眞規子　（教員）
・川上　健作　（教員）
・湊　賢一　（教員）
・橋本　紳一郎　（教員）
・佐賀　美恵子　（外部カウンセラー）
・成田　行子　（外部カウンセラー）

（出典　平成19年度 学生生活の手引き39頁 ）

資料７－２－①－３

学生相談室　相談件数

性別	平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室
男子	158		53	56	24	39	26	41	38	35	64	25	52	48	77	50
女子	147		58	30	22	56	17	63	60	59	53	35	24	49	52	87
計	305		111	86	46	95	43	104	98	94	117	60	76	97	129	137
			197		141		147		192		177		173		266	

学年	平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室	相談室	保健室
1年	56		-13	14	15	26	18	27	50	11	20	8	15	5	16	25
2年	67		7	15	8	4	4	12	12	14	19	17	16	6	35	40
3年	57		45	28	7	34	8	25	9	20	19	13	24	20	9	20
4年	51		12	16	8	19	4	19	17	17	19	10	10	30	52	27
5年	74		34	13	8	12	9	21	10	32	40	12	10	36	14	25
専攻科													1	0	3	0
計	305		111	86	46	95	43	104	98	94	117	60	76	97	129	137
			197		141		147		192		177		173		266	

（出典　学生相談室資料 ）

資料７－２－①－４

その他の奨学金制度について（地方公共団体等）

地方公共団体、民間育英団体等の奨学金制度がありますが、これらはその団体の所在地の出身学生を対象とするものが多く、出願・採用時期等も異なり、その多くは本人が直接手続きをする必要があります。
なお、育英団体から本校に推薦依頼があった場合は、その都度掲示等によりお知らせします。
奨学金に関する事務は学生係で取り扱っていますので、学校の推薦を必要とする学生並びに採用になった学生は、学生係へ申し出て下さい。

・主な奨学金の例

	奨学団体・組織名等	奨学金名称	給与・貸与の別	
			給与	貸与
1	函館市	函館市奨学金	－	○
2	北斗市	北斗市奨学金	－	○
3	福島町	福島町奨学金	－	○
4	森町	森町奨学金	－	○
5	上ノ国町	上ノ国町奨学金	－	○
6	古岡奨学会	古岡奨学会奨学金	○	－
7	あしなが育英会	あしなが育英奨学金	－	○
8	小笠原アカデミー奨学財団	小笠原アカデミー奨学金	－	○
9	梅津奨学院	梅津奨学院奨学金	○	－
10	交通遺児育英会	交通遺児育英奨学金	－	○

（出典　本校ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-gakuka/gakusei/syogaku/sonota-syougakukin.htm）

資料７－２－①－５

-入学料・授業料・寄宿料の免除及び奨学金について-

いろいろな事情で経済的に学校に通うことが難しくなったときのために，以下のような制度があります。

① 「高専に合格したけれども，昨年父が死亡したので，入学料が払えません。」
こんな時には・・・入学料の全額または半額の免除を許可される場合があります。（担当：学生係）

② 「入学はできたのですが，経済的に生活が苦しく授業料を払えそうにもありません。」
こんな時には・・・一定の基準以上の成績を取っていれば，授業料の全額または半額の免除を許可される場合があります。（担当：学生係）

③ 「自宅が高専から遠く，寮に入りたいのですが，寄宿料が払えそうにもありません。」
こんな時には・・・一定の制限はありますが，寄宿料の免除を許可される場合があります。
（担当：寮務係）

※このような納入免除の制度の他にも，
徴収猶予（一定期間納入を遅らせる）や月割分納（授業料を毎月に分けて納入する）
といった制度があります。

④ 「学資が足りないので奨学金の貸与を受けたいと思ってます。」

（出典　平成19年度 学生生活の手引き54頁 ）

資料７－２－①－６

函館工業高等専門学校　授業料免除データ

H16年度

	申請者合計	全額免除	半　額	不許可	免除者計
前　期	164	56	50	58	106
後　期	141	55	61	25	116

H17年度

	申請者合計	全額免除	半　額	不許可	免除者計
前　期	149	58	81	10	139
後　期	158	58	71	29	158

H18年度

	申請者合計	全額免除	半　額	不許可	免除者計
前　期	183	58	1	16	59
後　期					

奨学生データ

H16年度

	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科1年	専攻科2年	計
一　種	31	38	20	26	30	3	0	148
二　種						1		1

H17年度

	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科1年	専攻科2年	計
一　種	25	32	37	21	23	2	3	143
二　種					1	1		2

H18年度

	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科1年	専攻科2年	計
一　種	32	26	29	37	18	4	3	149
二　種				1		1		2

（出典　学生係資料 ）

（分析結果とその根拠理由）

全クラスに対して担任制度を設けるとともに，学生相談室の設置によって学生への相談・助言体制が整えられている。授業料減免措置が整備され，各種奨学金の案内・申請等の手続きに対して支援を行っている。

観点７－２－②：　特別な支援を行うことが必要と考えられる者（例えば，留学生，障害のある学生等が考えられる。）への生活支援等を適切に行うことができる状況にあるか。また，必要に応じて生活支援等が行われているか。

（観点に係る状況）

春潮寮には留学生棟が設置され，留学生の居住手段を確保しているとともに，留学生指導教員および学生チューターが配置され，留学生の支援が行われている。（資料７－２－②－１）。外国人留学生規程第７条により，国費留学生に係る授業料，入学料及び検定料は徴収しない（資料７－２－②－２）。

身体に障害を持つ学生への支援について，校内の大部分は段差を解消したバリアフリーに改修されており，各玄関前の傾斜スロープ，実験棟・専攻科棟のエレベータ，物質工学科棟階段の車椅子昇降機，身障者用トイレが設置されている（資料７－２－②－３）。現在１名の情報工学科２年生が，車椅子で学生生活を送っており，学生生活が不便にならないよう平成18年４月入学直後の会議において教室の配置換えを決定，夏休み前までに工事を完了した。さらに情報工学科棟に新たに平成19年3月末にエレベータを設置しハード面でも整備された（資料７－２－②－３）。

資料７－２－②－１

〇函館工業高等専門学校外国人留学生チューター制度実施要項
平成3年2月18日
制定
函館工業高等専門学校外国人留学生チューター制度実施要項
（趣旨）
1．函館工業高等専門学校外国人留学生規程第5条の規定に基づくチューターについては，この実施要項によるものとする。
（委嘱）
2．チューターは，当該外国人留学生（以下「留学生」という。）と同一学科の学生の中から，留学生指導教員（以下「指導教員」という。）が主事，当該学科主任及び学級担任と協議のうえ推薦し，校長が委嘱する。
（委嘱期間）
3．チューターの委嘱期間は，原則として1年とする。
（指導期間）
4．留学生の課外指導は，入学後最初の2年間とする。
（指導時間）
5．課外指導時間は，原則として週2回，各2時間とし，年間実施総週数は30週を標準とする。
（指導報告書）
6．チューターは，指導報告書（別紙様式第1号）を指導教員を経由し，学生課寮務係長（以下「寮務係長」という。）へ翌月の5日までに提出するものとする。
（指導時間数報告書）
7．寮務係長は，チューターから提出された指導報告書に基づき，チューター指導の実施完了を確認のうえ，指導時間数報告書（別記様式第2号）を作成し，総務課に提出する。
（指導謝金）
8．前項の指導時間数報告書に基づき，予算の範囲内で四半期ごとに謝金を支給する。
附　則
この要項は，平成3年2月18日から施行する。
附　則
この要項は，平成7年4月1日から施行する。
附　則
この規程は，平成16年4月1日から施行する。
附　則
この規程は，平成18年4月1日から施行する。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05701851.html ）

資料７－２－②－２

○函館工業高等専門学校外国人留学生規程

平成元年12月18日
函高専達第1号

函館工業高等専門学校外国人留学生規程

（目的）
第1条　この規程は，函館工業高等専門学校学則（以下「学則」という。）第57条第2項の規定に基づき，外国人留学生（以下「留学生」という。）に関し，必要な事項を定めることを目的とする。
（入学）
第2条　校長は，留学生に対して，原則として第3学年以下に入学を許可する。
（教育課程）
第3条　留学生の教育課程は，学則第13条の規定にかかわらず，特別に編成することができる。
2　前項の教育課程は，留学生の在籍する学科及び留学生指導教員（以下「指導教員」という。）の協力を得て，教務主事が編成し，校長の承認を得るものとする。
（外国人留学生委員会）
第4条　留学生の受入れ及びその他必要な事項を審議するため，外国人留学生委員会を置くものとする。
2　外国人留学生委員会に関する必要な事項は，別に定める。
（指導教員）
第5条　留学生の学習及び生活等に関し，一貫した指導を行うため，各留学生に指導教員を置く。
2　指導教員は，校長が委嘱する。
（チューター）
第6条　留学生の学習及び生活等に関し，相談に応じ必要な助言等を行うため，各留学生にチューターを置く。
2　チューターは，校長が学生の中から委嘱する。
（授業料等）
第7条　国費留学生に係る授業料，入学料及び検定料は徴収しない。
（庶務）
第8条　留学生に関する事務は，学生課が行う。
（雑則）
第9条　この規程に定めるもののほか必要な事項が生じた場合は，校長が別に定める。

附　則
この規程は，平成元年12月18日から施行する。
附　則
この規程は，平成4年4月1日から施行する。
附　則
この規程は，平成11年12月22日から施行する。
附　則
この規程は，平成16年4月1日から施行する。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05700771.html ）

資料７－２－②－３

学生玄関前スロープ

専攻科玄関前スロープ

体育館玄関前スロープ

情報棟エレベータ

身障者用トイレ

（分析結果とその根拠理由）

留学生には留学生指導教員および学生チューターが生活面・学習面の指導にあたっている。障害のある学生に対しては，各施設に対して十分なバリアフリー対策が施されており，生活支援が適切に行われている。

観点７－２－③：　学生寮が整備されている場合には，学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。

（観点に係る状況）

春潮寮は，平成19年４月現在189名の学生が入寮しており（資料７－２－③－１），寮務委員会と学生課寮務係が連携して指導体制を組み，寮生活の支援，指導を行う形をとっている。教職員と寄宿舎指導員が毎日交代で宿日直を行い，寮内の巡回点検等を行うとともに，急病が発生した場合などにも対応できるよう24時間体制で寮生活を見守っている（資料７－２－③－２）。

生活面の指導としては，登校日の朝の居室巡回点検があり，宿日直教員による点呼，寮巡回点検がある。女子寮では毎夜点呼後に女子寮生全員に寮母，宿直教員を含めたミーティングがあり，連絡事項などを伝達している（資料７－２－③－３）。

学習面では，準学士課程第１学年男子学生は月～木曜日の21時～22時半を学習時間として，一斉学習を行う指導体制としている（資料７－２－③－３）。管理棟およびC棟３階，A棟２階には研修室があり，24時間電気を使用できる体制である（資料７－２－③－４）。

資料７－２－③－１

春潮寮　入寮者数（平成19年度4月1日現在）

本科男子

区　分	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	物質工学科	環境都市工学科	合　計
１　年	8	15	9	7	2	41
２　年	8	8	3	4	3	26
３　年	10	7	11	1	2	31
４　年	5	5	4	8	7	29
５　年	4	9	3	2	5	23
合　計	35	44	30	22	19	150

本科女子

区　分	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	物質工学科	環境都市工学科	合　計
１　年	－	－	2	6	2	10
２　年	1	2	－	2	2	7
３　年	－	－	2	2	2	6
４　年	－	－	2	－	－	2
５　年	3	－	1	1	1	6
合　計	4	2	7	11	7	31

留学生

区　分	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	物質工学科	環境都市工学科	合　計
３　年	－	－	1	2(1)	－	3(1)
４　年	1	1	－	－	－	2
５　年	1	－	1	－	－	2
合　計	2	1	2	2(1)	－	7(1)

※（　）内は女子寮生数(内数)

専攻科

区分	人数	合計
専攻科1年	－	－
専攻科2年	1	1

（出典　本校ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-ryou/ryo/number.php ）

資料７－２－③－２

○函館工業高等専門学校学生寮宿日直実施細則

平成16年4月1日
函高専達第6号

函館工業高等専門学校学生寮宿日直実施細則

（趣旨）

第1条　独立行政法人国立高等専門学校機構学生寮教員宿日直規則(以下「教員宿日直規則」という。)及び独立行政法人国立高等専門学校機構職員宿日直規則(以下「職員宿日直規則」という。)に基づき，函館工業高等専門学校(以下「本校」という。)の学生寮における宿日直勤務の実施について定める。

（勤務）

第2条　宿日直勤務は，函館工業高等専門学校学生寮管理運営規程第11条に定める閉寮の期間中は勤務を命じない。ただし，校長が特別の事情があると認めた場合には，当該勤務を命ずることがある。

2　日直勤務は，日曜日，土曜日，国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日及びその他校長が特に指定する日に勤務を命ずる。

（宿日直勤務の免除）

第3条　教員宿日直規則第5条第3号及び職員宿日直規則第5条第3号に定める宿日直の免除は，次の各号のいずれかに該当する者とする。

一　教務主事及び学生主事

二　事務部長，各課長及び技術室長

三　別紙様式1の申請を行い，校長に認められた者

四　その他，免除することが適当と校長が認めた者

（勤務の命令）

第4条　宿日直勤務者は，校長の宿日直勤務命令により勤務に服するものとする。

2　宿日直勤務の割振りは，総務課長があらかじめ一定の順序に従い，翌1月分の割振りを作成し，校長の決裁を得たうえ，実施する月の前月の25日までに該当する者に通知する。

（勤務の交替）

第5条　教員宿日直規則第7条及び職員宿日直規則第7条に定める勤務の交替は，別紙様式2による本人からの申請により校長が認めた場合とする。

（記録簿等）

第6条　教員宿日直規則第8条及び職員宿日直規則第8条に定める記録簿等は，別紙様式3のとおりとする。

（事務の引き継ぎ）

第7条　宿日直者は，宿日直勤務につく前に学生課寮務係又は前の勤務者から事務を引き継ぐとともに前条に定める記録簿を受け取り，宿日直勤務を終了したときは，必要事項を記録簿に記載し，学生課寮務係又は次の勤務者に引き継がなければならない。

附　則

この細則は，平成16年4月1日から施行する。

附　則

この規程は，平成18年4月1日から施行する。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05701871.html）

資料７－２－③－３

時 刻	日 課	事 項
～7:00	起床	
7:35～8:25	朝食	食堂
～8:30	登校	
8:30～	授業	寮務担当教官による巡回
12:25～13:05	昼食	食堂
～13:15	登校	
18:00～19:30	夕食	食堂
16:00～23:00	入浴	入浴は月～金曜日の5日間、シャワーは毎日可
21:00～23:30	静粛時間	
21:00～22:30	一斉学習(1年生)	
22:00	点呼	点呼(1～3年生)
23:00	門限申告	門限申告(4，5年生)
23:00	玄関施錠	
24:00	消灯・就寝	

春潮寮 男子日課表

時 刻	日 課	事 項
～7:00	起床	
～7:30	身支度	玄関掃除を含む
7:35～8:25	朝食	8時からラジオ放送、8:30に食堂閉鎖
～8:30	登校	照明その他の電源を切る。 ドア、窓、机の引き出しなどの施錠
8:30～8:50	巡回	女性寮務教官、女性教官による棟内と居室内の点検
8;40～12:00	授業	
12:25～13:05	昼食	学校より一時帰寮
～13:15	登校	照明その他の電源を切る。 ドア、窓、机の引き出しなどの施錠
12:45～	授業	
16:00～21:00	入浴	21:30以降浴槽閉鎖し、シャワーのみ
18:00～19:30	夕食	食事は食堂内で行い、自室に持ち込んではいけない
～21:00	洗濯	21:00以降閉鎖
21:00～21:30	掃除	浴室、捕食室掃除
21:30～21:45	点呼	点呼後ミーティング
21:00～23:00	静粛時間 (学習時間)	自室で学習。他の居室を訪問しない。 見回り時に不在の場合、呼び出し指導
24:00	消灯	

春潮寮 女子日課表

（出典　本校ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-ryou/ryo/nikka.php ）

資料７－２－③－４

概要

函館高専の学生寮である「春潮寮」は、共同生活を通して学生の人間形成に資するための教育施設です。単に通学の便宜を図った厚生のための施設ではありません。

定　員	現在の定員は、男女合わせて233名です。
運　営	寮生の指導・相談には主に寮務委員と学級担任があたります。土、日、祝祭日、夜間は全教員が輪番制で日直、宿直として対応します。また、寮内の施設設備等の保守管理には主に寮務係の職員があたり、土、日、祝祭日、夜間は宿日直教員及び寄宿舎指導員が対応し、寮生が安全に、快適に過ごせるように注意を払っています。また、男子棟・女子棟ともに寄宿舎指導員が勤務し、学生の生活上の指導・相談にあたっています。
居　室	居室は1人部屋48室、2人部屋37室、3人部屋37室となっています。
食　事	１日の摂取カロリー、栄養価を考えた朝食、昼食、夕食の3食が寮の食堂で提供されます。
生　活	入浴については、シャワーは毎日使用できますが、お風呂は週に月～金曜日の5日間の使用となっています。
学　習	毎日21時から23時までは学習(静粛)時間となっています。また1年生男子は月曜日から木曜日の21時から22時30分までは一斉学習時間となっており、研修場所に集まって点呼を受けた後で一斉に学習をおこないます。24時の消灯後は、消灯が解除されている研修(自習)室で学習を続けることが可能です。

（出典　本校ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-ryou/ryo/gaiyou.php ）

（分析結果とその根拠理由）

春潮寮は，寮務委員会を中心に教職員による宿日直・巡回点検が毎日交代で行われ，指導体制が24時間体制となっている。学習（静粛）時間や一斉学習時間が設定されており，毎日の学習を促すよう指導され，勉学の場として機能している。

観点７－２－④：　就職や進学などの進路指導を行う体制が整備され，機能しているか。

（観点に係る状況）

進路指導委員会（資料７－２－④－１）が設置されており，インターンシップ推進のための講演会，就職ガイダンス（資料７－２－④－２），進学関係説明会を行うとともに，就職の手引き・進学の手引き（資料７－２－④－３）を学生に配付し就職・進学に関する事項について周知している。学生個人には各学科の就職担当教員（担任）が指導を行っており，求人企業の提示，企業の選定の相談，調査書や推薦書の作成，面接指導等を行っている。

平成18年度からキャリア教育センターが設置され，各種講演会により学生が社会に出るために必要な教育を，低学年から組織的・系統的に行っている。キャリア教育センター（資料７－２－④－４）では，求人情報をデータベース化し，求人情報検索システムが現在稼動中である（資料７－２－④－４）。就職率は例年ほぼ100％を維持している（資料７－２－④－５）。

資料７－２－④－１

○函館工業高等専門学校進路指導委員会規程

平成7年12月25日
函高専達第30号

函館工業高等専門学校進路指導委員会規程

（趣旨）

第1条　函館工業高等専門学校に，学生の就職及び進学に関する事項を審議するため，進路指導委員会(以下「委員会」という。)を置く。

（審議事項）

第2条　委員会は，次の各号に掲げる事項を審議する。

一　就職指導及び就職あつせんに関する事項
二　就職開拓に関する事項
三　進学に関する事項
四　その他就職及び進学に関する事項

（組織）

第3条　委員会は，次に掲げる者をもつて組織する。

一　学生主事
二　学科主任及び一般科目主任
三　専攻科長
四　第5学年の学級担任
五　専攻長及び副専攻長

（委員長等）

第4条　委員会に委員長を置く。
2　委員長は，学科主任のうちから校長が任命する。
3　委員長は，委員会を招集しその議長となる。

（委員以外の者の出席）

第5条　委員長は，委員会に委員以外の者の出席を求め，意見を聴くことができる。

（庶務）

第6条　委員会の事務は，学生課において処理する。

（雑則）

第7条　この規程に定めるもののほか，必要な事項は校長が定める。

附　則

この規程は，平成8年4月1日から施行する。

附　則

この規程は，平成17年4月1日から施行する。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05701141.html）

資料７－２－④－２

就職ガイダンスを開催

　本校では、去る１月２９日に第４学年を対象に就職ガイダンスを開催しました。株式会社ディスコ（東京都）より講師を迎え、新卒採用計画の推移やエントリーシートの書き方、さらには面接試験の種類など基礎知識について学び、就職活動への意識を高める良い機会となりました。

　また、企業が求める人材像を通じて「自己分析」「自己理解」の方法などについても学び、学生達は円滑に就職活動を行えるよう熱心に講師の話に聞き入っていました。

【講演会の様子1】

【講演会の様子2】

（出典　本校ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-gakuka/gakusei/kousyu/syushoku/syu-syoku.htm ）

資料７－２－④－３

目　　次

１．就職活動に関すること
Ⅰ．就職先決定の際の留意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
Ⅱ．就職斡旋の際の遵守事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
Ⅲ．就職の際の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
Ⅳ．履歴書について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

２．「就職先一覧」及び「求人企業一覧」

○機械工学科　就職先一覧　（平成１８年度・１７年度）・・・・・・・・・5
求人企業一覧（平成１８年度）・・・・・・・・・・・・・・6
求人企業一覧（平成１７年度）・・・・・・・・・・・・・・15

○電気電子工学科　就職先一覧　（平成１８年度・１７年度）・・・・・・・・・22
求人企業一覧（平成１８年度）・・・・・・・・・・・・・・23
求人企業一覧（平成１７年度）・・・・・・・・・・・・・・33

○情報工学科　就職先一覧　（平成１８年度・１７年度）・・・・・・・・・40
求人企業一覧（平成１８年度）・・・・・・・・・・・・・・41
求人企業一覧（平成１７年度）・・・・・・・・・・・・・・48

○物質工学科　就職先一覧　（平成１８年度・１７年度）・・・・・・・・・52
求人企業一覧（平成１８年度）・・・・・・・・・・・・・・53
求人企業一覧（平成１７年度）・・・・・・・・・・・・・・58

○環境都市工学科　就職先一覧　（平成１８年度・１７年度）・・・・・・・・・62
求人企業一覧（平成１８年度）・・・・・・・・・・・・・・63
求人企業一覧（平成１７年度）・・・・・・・・・・・・・・67

就職の手引き目次

目　　次

はじめに　　進路指導委員会委員長　　韮　澤　　憲　吉

専攻科（函館高専）の紹介

Ⅰ．本気で進学を希望するあなたに ……………………………………1
１．志望校を選択するために
２．募集要項の請求方法
３．出願書類の作成
４．Q&A
５．進学についての照会先

Ⅱ．いよいよ受験！ポイントは？ ……………………………………6
１．受験ツアーは楽しむつもりで
２．入試前日まで
３．入試当日
４．面接試験について

Ⅲ．合格おめでとう！ ……………………………………8
１．合格、喜んだらすぐに連絡しよう。
２．推薦で合格したら、行かなければならない。
３．入学確約書を提出したら、辞退はできない。
４．複数合格したら、贅沢にも入学先を決める。そしてまた連絡だ。
５．初志貫徹しよう！

Ⅳ．本校の大学・高専進学状況 ……………………………………9
１．今年度までの合格者数
２．平成１９年度編入学試験に係る受験、合格及び入学者数（平成１９年４月入学）

Ⅴ．本校の大学院進学状況 ……………………………………１１
１．今年度までの合格者数
２．平成１９年度編入学試験に係る受験、合格及び入学者数（平成１９年４月入学）

Ⅵ．参考資料 ……………………………………１３

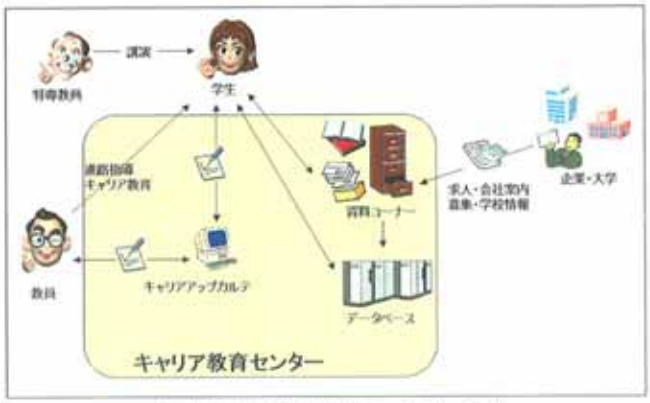
進学の手引き目次

（出典　教務係資料 ）

資料７－２－④－４

＜センターの業務＞ Activities of the Center

1．学生が就職・進学・インターンシップに利用できるデータベースの構築
2．本校特専教員による講演会の実施
3．インターンシップの支援に関わる調査と準備
4．バーチャル・キャリア教育センター開設の準備



▲ キャリア教育センター　イメージ図

＜センターの様子＞

▲ 資料コーナー（書架） Information Source

▲ 就職・進学・インターンシップ情報データベース

▲ 資料コーナー（データベース） Information Source

（出典　平成19年度 学校要覧29頁 ）

資料７－２－④－５

平成18年度卒業予定者の進路状況

●平成18年度卒業予定者の進路状況

（平成19年3月1日現在）

学科＼項目	卒業予定者数	卒業後の進路希望			就職状況				進学決定（合格）者	進学決定（合格）先
		就職（A）	進学	左記以外	求人企業	求人数	内定状況 内定者（B）	内定状況 内定率（B）/（A）×100		
機械工学科	42	26	15	1	534	534	26	100.0%	15	豊橋技科大（1名）、室蘭工大（1名）、熊本大（1名）、函館高専専攻科（12名）
電気電子工学科	38	26	10	2	462	462	26	100.0%	10	長岡技科大（3名）、北海道大（1名）、小樽商科大（1名）、横浜国立大（1名）、豊田工業大学（1名）、函館高専専攻科（2名）、都立産業技術高専専攻科（1名）
情報工学科	26	15	11	0	415	415	15	100.0%	11	豊橋技科大（3名）、北海道大（1名）、室蘭工大（2名）、金沢大（1名）、静岡大（1名）電通大（1名）、函館高専専攻科（3名）、デジタルハリウッド大（1年入学）（1名）
物質工学科	42	28	13	1	268	268	28	100.0%	13	長岡技科大（1名）、豊橋技科大（5名）、北海道大（1名）、弘前大（3名）、秋田大（1名）信州大（1名）函館高専専攻科（3名）
環境都市工学科	39	21	13	5	223	223	21	100.0%	13	長岡技科大（2名）、豊橋技科大（3名）、室蘭工大（1名）、函館高専専攻科（7名）
計	187	116	62	9	1,902	1,902	116	100.0%	62	

※卒業後の進路　就職・進学以外の者の内訳
・機械工学科（１名）：次年度進学志望者　１名
・電気電子工学科（２名）：就職等を希望していない者　２名
・物質工学科（１名）：専門学校志望　１名
・環境都市工学科（５名）：就職等を希望していない者　１名、専門学校志望　４名

●平成18年度専攻科修了予定者の進路状況

（平成19年3月1日現在）

学科＼項目	修了予定者数	修了後の進路希望			就職状況				進学決定（合格）者	進学決定（合格）先
		就職（A）	進学	左記以外	求人企業	求人数	内定状況 内定者（B）	内定状況 内定率（B）/（A）×100		
生産システム工学専攻	12	6	4	2	395	395	6	100.0%	4	北海道大学大学院（２名）、はこだて未来大学大学院（２名）
環境システム工学専攻	14	10	3	1	260	260	9	90.0%	3	豊橋技術科学大学大学院（1名）、神戸大学大学院（1名）、京都工芸繊維大学大学院（1名）
計	26	16	7	3	655	655	15	93.8%	7	

※卒業後の進路　就職・進学以外の者の内訳
・生産システム工学専攻（２名）：就職等を希望していない者　２名
・環境システム工学専攻（１名）：就職等を希望していない者　１名

（出典　平成19年３月16日 教員会議資料）

（分析結果とその根拠理由）

進路指導委員会およびキャリア教育センターを設置し，進路指導に関する支援体制が確立されている。就職担当教員は各学生に対し個別に対応しており，就職・進学の内定率は毎年ほぼ100%である。

（２）優れた点及び改善を要する点

（優れた点）

学習支援について，学級担任を中心に全教員が対応しており教員室前共有スペースおよびオフィスアワー等の実施によりきめ細かい対応が可能な体制をとっている。学習環境は図書館をはじめとする自主学習スペース，情報教育演習室が整備されている。学生意見箱の設置により適宜学生のニーズを把握することができる。

課外活動については，すべてのクラブに複数顧問教員配置，外部コーチ制度，育成会による資金支援等の体制が整備され機能している。

校内の大部分は段差を解消したバリアフリーに改修されており，現在１名の情報工学科２年生が車椅子で学生生活を送っているが，車椅子で校舎ほぼ全域に移動可能である。

学生寮は男女および留学生の入寮が可能であり幅広い地域からの入学を可能としている。教職員および寄宿舎指導員による24時間，指導可能な体制がとられている。

学生相談室では，外部からカウンセラー（臨床心理士）の二人体制をとり，週２回非常勤で来ていただき学生の心の健康面での相談に対応している。

（改善を要する点）

男子寮の老朽化が目立ち改善を要する。

（３）基準７の自己評価の概要

学習を進める上でのガイダンスが準学士課程および専攻科課程ともに適切に実施されている。クラス担任支援だけではなく，教員室前共有スペースおよびオフィスアワー制度，学生相談室の設置により，学習・生活全般に関する相談に応じる体制が確立し機能している。情報技術の自主的学習のために情報教育演習室として５室が設けられている。これらのことより，学生が学習を進める上での体制は整備され機能している。

学生玄関前に設置されている学生意見箱により，学生は意見を学校長に直接申し出る機会が与えられている。原則としてどのような意見にもできるだけ素早く回答する方針であり，その回答は玄関前に大きく掲示される。学生は学内専用ウェブサイトから過去の質問・回答を閲覧することが可能である。

英検および工業英検については，実施の連絡，申し込み受付，２次試験の個別指導を実施しており，合格者は英語演習の単位修得として認められ，学生の学習意欲を促進させている。TOEICに関してはIP試験を年に数回実施し，480点以上の得点により１単位として認められる。TOEICオープンは準学士課程および専攻科課程それぞれ一度無料で受験が可能な体制である。また，平成18年度に国際活動推進部会が発足し，釜慶大学校との学術協定が締結され学生交流が予定されている。

留学生には，指導教員および学生チューターを学生毎に割当て，日本語および専門科目修得の補助として留学生向けの授業が設定されている。学生寮では，男女とも留学生専用の居室が与えられ，１学年男子学生の一斉学習を行うなど学習・生活支援を行う体制は十分に整っているといえる。

クラブ活動の支援として，顧問２人以上の体制および外部コーチ制度の導入がなされている。学生会は自主的な活動が重んじられるため福利棟に学生会室が設けられており，各種行事の企画・参加を積極的に行っている。その他ロボットコンテスト等の行事にはコンテスト部会がバックアップを行う体制である。

学生への経済面の支援は，入学料，授業料の免除および減免措置制度がとられており，学生支援機構をはじめとする各種奨学金の案内を行っている。また，学生寮は遠隔地からの入学を積極的に受け入れる体制をとっており，教職員および寄宿舎指導員の連携により，学生の安全を24時間体制で見守っている。

就職・進学に関しては，各担任が求人企業の提示，企業の選定の相談，調査書や推薦書の作成，面接指導等を行い，進路指導委員会，キャリア教育センターと連携をとりながら支援体制を敷いており，学生の就職・進学率は毎年ほぼ100％を維持している。